

第7回 丘珠空港周辺地域連絡協議会 概要

■協議会概要

日 時： 令和8年（2026年）8月27日（木）14時00分～15時00分

場 所： TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌駅南口 ホール 7B

参加者： ○空港周辺の連合町内会関係者 計 21 名（篠路茨戸、屯田、太平百合が原、
拓北・あいの里、栄西、栄東、伏古本町、丘珠、札幌、東雁来、中沼）

事務局： ○札幌市まちづくり政策局 小澤 空港活用推進室長
岩岡 空港担当課長 ほか職員

○札幌丘珠空港ビル株式会社 川本 専務取締役
菅原 総務部長

内 容： ・「札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想」に基づく取組の進捗状
況について

資 料： 別紙のとおり

■議事概要

<要点>

【意見概要】

- ・航空機騒音について、測定方法の見直し及び通年測定の導入案に対して、反対意見等はなく、理解を示した。
- ・騒音調査については、さらに慎重に進めながら周辺住民へ配慮し理解を得てほしいこと、測定値が具体的にどのような音量なのか、住民や子供にも分かりやすい形で説明してほしいという意見があった。
- ・空港ターミナルビルの機能拡充について、町内会の会議などで利用できる会議室の整備や会食可能なレストラン機能の充実を検討してほしいという意見があった。
- ・交通アクセスの改善について、地下鉄栄町駅からすぐに空港連絡バスへ乗車できるような将来的な動線の構築や、冬期の丘珠空港通における渋滞対策を念頭に置いた十分な除排雪を求める意見があった。

<個別意見>

○航空機騒音について

- ・百合が原公園は相当騒音があり、騒音関係が空港周辺の1番の問題点だと思う。騒音調査の期間をさらに増やして確認することは良いと思うので、さらに慎重に調査をしながら周辺の詳細を取っていただきたい。
 - ➡通年測定については、今後導入していきたいという検討段階。調査結果をどのように報告するかは今後検討していく。また、通年測定の地点数はこれからの検討になるが、地点としては今の短期測定場所の一部に置き換えていくことを想定している。（札幌市）
- ・街中にある伊丹空港などに比べ、丘珠空港はそれほど大きな空港ではないが、やはり騒音問題や環境問題などの懸念が多い。今後も丁寧な説明がさらに必要なことから、住民のために配慮いただきたい。

- ・測定値が一般には理解しづらいため、子どもにも分かりやすい説明が必要。今後の通年測定にも期待しており、住民に対する情報提供をさらにこまめにした方が、理解してもらえるのではないかと。
- ➡通年測定も含め、騒音調査結果の周知方法については、改めて検討させていただく。
(札幌市)

○空港ターミナルビルの機能拡充について

- ・地域には大きな会議施設が少なくなりつつあるので、地域交流ができるような会議室が増えると良い。このほか、会食可能なレストラン機能の充実もご検討いただきたい。
➡地域密着型空港を目指しているため、ご意見を踏まえて検討していく。(札幌丘珠空港ビル(株))
- ・現ターミナルビルを活用しながら隣の敷地に新ターミナルビルを建てることは妙案だと思う。
- ・現在資材が高騰しているため、2030年までにこのターミナルビル等が完成するかどうか心配。引き続きよろしくお願ひしたい。

○交通アクセスの改善について

- ・地下鉄を降りたらすぐバスに乗れるような環境の構築が、将来的に必要なではないかと。また、空港連絡バスの便数が減ると、利用者は非常に不安だと思う。特に冬期間は渋滞をするため、除排雪についても特段配慮をいただきたい。
➡札幌市としても同様の課題意識を持っている。いただいたご意見も踏まえ、引き続き交通事業者や関係機関と協議・調整を行っていく。(札幌市)
- ・飛行機に乗らない方も空港を楽しめるような空港ターミナルビルの機能拡充の話が聞けて嬉しく思う。周辺地域からバスで栄町駅まで来たときに、空港まで直通するような交通手段があれば良いのでは。
- ・飛行機を降りてもタクシーがないので、来るのを待つか丘珠空港通まで出た方が良いのか悩むことがある。
➡夕方以降にタクシーが少なくなる傾向は、市としても把握している。昨冬には札幌ハイヤー協会等と連携し、タクシーを必ず1台は常駐させる実証実験なども行っている。空港を利用する方のニーズ等も踏まえながら、今後も取り組んでまいる。
(札幌市)

○安全運航の確保について

- ・民航機の安全運航のために、北東側に空港用地が拡張され、自衛隊の訓練場所が確保される予定ということは良いと思う。